

令和 6 年度市町村税決算状況（速報）

令和 7 年 7 月 2 日

これまでの県・市町村連携による税収確保の取組と市町村の徴収努力により、令和 6 年度の市町村税徴収率は 98.8%と 4 年連続で上昇し、平成以降で最高を更新しました。

市町村の自主財源の確保を図るため、令和 7 年度も引き続き市町村と連携し、以下の税収確保の取組を推進します。

○市町村税徴収率、平成以降で最高を更新しました！

市町村税収入額：1,613 億 8 千万円 ※ 国民健康保険税を除く
(対前年比▲1.3%、20 億 8 千万円減)

→ 国の経済対策による定額減税により減収

徴収率：98.8%

(対前年伸び率+0.1 ポイント)

収入未済額：19 億 4 千万円

(対前年比▲10.4%、2 億 3 千万円減)

→ 徴収率が最も低下していた平成 15 年度と比べて約 113 億円圧縮

○県・市町村連携による税収確保の取組を推進します！

1. 「おおいた徴収カレッジ」開催（主催：公益財団法人大分県自治人材育成センター）

「おおいた徴収カレッジ」では、県と市町村の徴収職員が徴収のノウハウを学び、自治体間のネットワークを強化するという目的の下、県内・県外の先進団体等から講師を招き、職員の経験年数に応じた実践的な研修を行っています。

- ・初任者コース（6/10～11, 8/25）、リーダー養成コース（7/7～8, 9/2～3）、マネジメントコース（7/9）

2. 県職員派遣による支援と市町村間の相互併任の実施

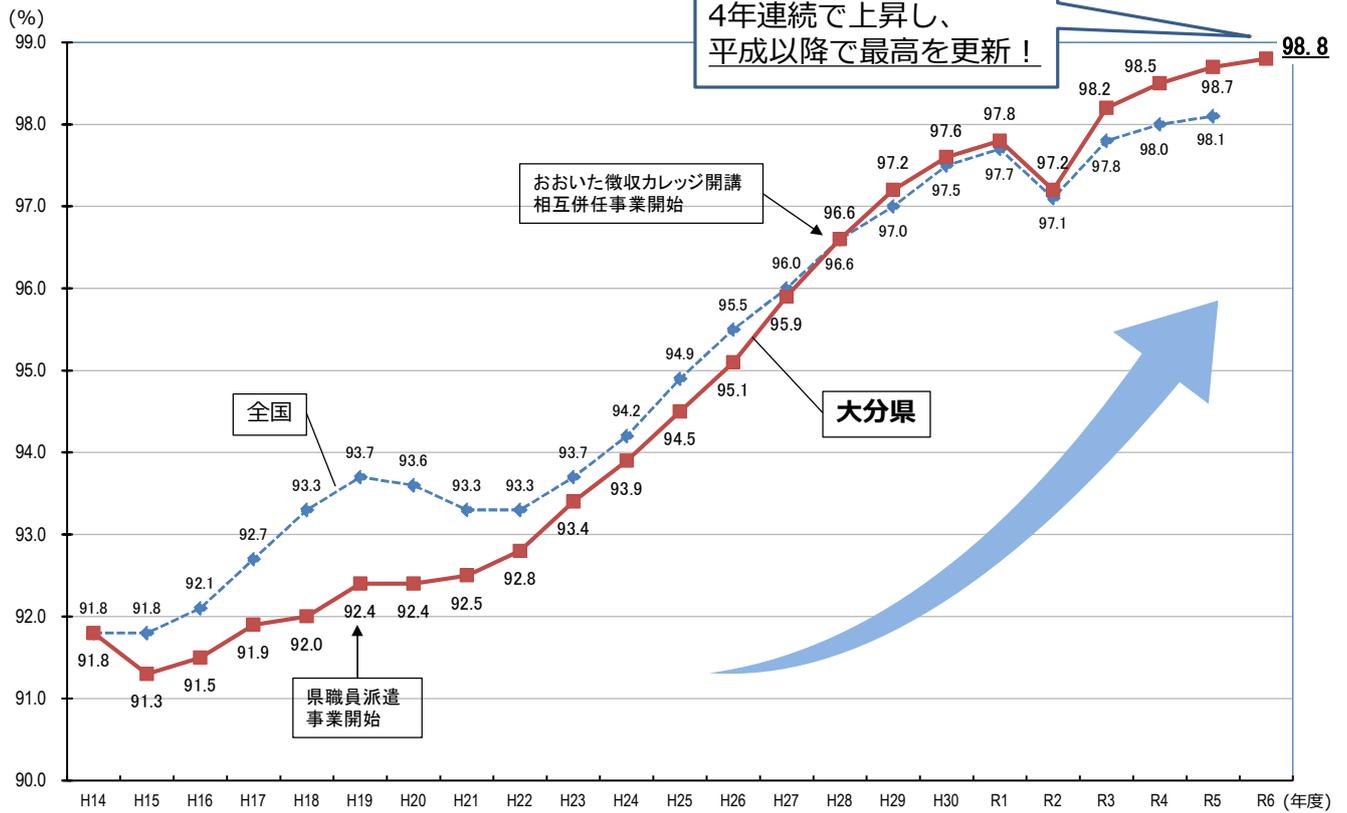
徴収技術の円滑な承継と組織的な滞納整理の推進のため、県職員を派遣し徴収率の向上を目指します。

さらに、市町村間の職員の相互併任を実施することで、搜索等の滞納処分や、困難事案の検討等を連携して行います。

- ・県職員派遣の受入れ及び相互併任制度を活用している市町（13 市町）
別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、豊後大野市、日出町、九重町、玖珠町
- ※ 由布市及び国東市は相互併任制度のみ活用

◆市町村税徴収率の推移について（全税目計、現年分・滞納繰越分合計）

令和7年7月
市町村振興課



◆市町村別の徴収率について

・市町村税徴収率（全税目計、現年分・滞納繰越分合計）

（参考）主要税目の徴収率（現年分・滞納繰越分合計）

市町村名	市町村税徴収率		
	令和6年度	令和5年度	前年比 (5→6)
大分市	99.6	99.6	0.0
別府市	98.6	98.1	0.5
中津市	97.6	97.7	▲ 0.1
日田市	98.4	98.1	0.3
佐伯市	98.1	98.0	0.1
臼杵市	97.6	97.1	0.5
津久見市	97.9	97.5	0.4
竹田市	99.0	98.7	0.3
豊後高田市	98.1	98.1	0.0
杵築市	98.9	98.3	0.6
宇佐市	98.3	98.3	0.0
豊後大野市	98.3	98.4	▲ 0.1
由布市	96.7	96.1	0.6
国東市	98.3	98.5	▲ 0.2
姫島村	97.8	97.8	0.0
日出町	97.5	97.3	0.2
九重町	94.9	94.6	0.3
玖珠町	98.2	98.3	▲ 0.1
県計	98.8	98.7	0.1

市町村名	主要税目徴収率	
	住民税	固定資産税
大分市	99.2	99.8
別府市	97.9	98.8
中津市	97.2	97.7
日田市	98.9	98.0
佐伯市	98.4	97.8
臼杵市	97.8	97.3
津久見市	98.4	97.4
竹田市	98.9	99.0
豊後高田市	97.9	98.0
杵築市	99.2	98.5
宇佐市	98.7	97.8
豊後大野市	98.7	97.9
由布市	96.8	96.1
国東市	98.9	97.8
姫島村	99.7	95.2
日出町	98.2	96.8
九重町	98.3	93.5
玖珠町	99.2	97.1
県計	98.7	98.7